



日本大学文理学部国文学科 日本語学基礎演習2

はじめに

各ジャンルにおける
年代別キャライメージの比較

方言イメージと
週刊少年ジャンプにおける
方言キャライメージの
関係について

外国人と地元の
方言キャラクター

少女漫画における
方言による作品世界と
方言の基本イメージの関係

少年マンガにおける
方言を利用した
キャラの差別化

あとがき

5.1.大阪弁における方言イメージとキャラクターの性格の関係

(細山雅代)

1.大阪府における分析

全国県民意識調査(1997)と、漫画のキャラクターたちのセリフを比較したところ、当てはまっているものは「大阪弁に強い誇りと愛情がある」「この言葉を残していきたい」ということであった。

大阪弁というのは、一般的にも知られている部分が多く、その人の感情のわかりやすさやギャップ、漫才などのおもしろさが多いため漫画で使用されることが多いのだと感じた。

2.調査による結果と考察

(結果1)大阪弁に強い愛情と誇りをもっているという方言イメージはよくあてはまっていた。

(考察1) 認知度の高い方言であるということも踏まえ終始方言を多く使用することで大阪弁にたいする読者のイメージを取り入れている。


(結果2) 反対に、自分のことばかり考えて他人のことには無関心という項目には全員当てはまらなかった。

(考察2) 恋愛的内容も含む少女漫画であること、登場人物が学生で多感な時期であることなどが当てはまらなかった理由としてあげられると考えた。

3.まとめ

これだけたくさんの漫画に大阪弁が使われているということは、やはり大阪弁は認知度が高いということがわかる。なぜこんなにも大阪弁が使われる漫画が多いのか、なぜ読者は大阪弁の漫画にあきないのか。これは、大阪弁ならではの面白さがたくさんあるからだと感じた。

 [5.2.鳥根弁における方言イメージとキャラクターの性格の関係\(松浦花\)](#)

 [5.3.長崎方言における方言イメージとキャラクターの性格の関係\(唐木田之愛\)](#)